

選択必修科目 産科婦人科臨床研修プログラム

産科（周産期）および婦人科に分かれて、各領域における基本的疾患に関する診断方法、治療方法の実際を研修する事を目的とする。また、卒後研修目標の一つに「緊急を要する病気を持つ患者の初期診療に関する臨床能力を身につける」とあり、救急疾患のうち女性特有の疾患の診断およびプライマリケアが行える事を目標とする。

周産期においては、1) 正常妊娠の生理の習得、2) 正常分娩および産褥期管理、3) 健常新生児管理、4) 異常妊娠（切迫流産・早産、妊娠高血圧症候群など）、合併症妊娠の診断・管理、5) 育児に必要な母性とその育成、などを研修する。また妊産褥婦に対する投薬の問題、治療や検査をする上での制限等についての特殊性を理解する。

婦人科領域では良性・悪性腫瘍疾患の手術に参加し周術期管理を学び、また悪性腫瘍患者の補助化学療法や放射線治療などを研修する。また、主に外来での研修では女性の加齢や性周期に伴うホルモン環境の変化を理解するとともに、それらの失調に起因する諸々の疾患に関する系統的診断と治療を研修する。

1. 研修施設

獨協医科大学病院

2. 研修期間

2年次の1か月間

3. 指導体制

指導責任者： 深 澤 一 雄 教 授

主任指導医： 茂 木 絵 美

4. 研修内容

- (1) 外来：指導医の助手として外来診察を行い、外来における産婦人科疾患の基本的な診察・検査・治療法を習得する。また当直研修では、救急外来で緊急時の対応を経験する。
- (2) 病棟：指導医の下で、入院患者を受け持って診察、検査、治療を行う。担当患者の手術、処置には助手として立ち会う。また指導医と共に当直を行い、病棟管理、急変時の対応を経験する。
- (3) その他：教授回診、産科・婦人科カンファレンス、研究会、抄読会、医局会に参加する。

5. 研修目標

一 般 目 標 (G I O)
女性特有の疾患による救急医療を研修する 女性特有の疾患のプライマリケアを研修する 妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する

到 達 目 標 (S B O)	
産科関係	(1) 経験優先順位第1位 (最優先) 項目 妊娠の検査・診断 正常妊婦の外來管理 正常分娩の管理 正常産褥の管理 正常新生児の管理 (2) 経験優先順位第2位項目 腹式帝王切開術の助手の経験 異常妊娠の管理 (切迫流産・早産、妊娠高血圧症候群、合併症妊娠) (3) 経験優先順位第3位項目 産科出血に対する応急処置法の理解 妊婦の腹痛、腰痛への対処
婦人科関係	(1) 経験優先順位第1位 (最優先) 項目 婦人科良性腫瘍の診断ならびに治療計画の立案 婦人科良性腫瘍の手術への第2助手としての参加 (2) 経験優先順位第2位項目 婦人科悪性腫瘍の早期診断法の理解 (見学) 婦人科悪性腫瘍の手術への参加 婦人科悪性腫瘍の集学的治療の理解 (見学) 婦人科を受診した急性腹症の患者の管理 (3) 経験優先順位第3位項目 不妊症・内分泌疾患患者の外來における検査と治療計画の立案 性感染症の検査・診断・治療計画の立案

6. 経験が求められる疾患・病態

①妊娠・分娩・産褥 (正常妊娠、流産、切迫早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎) ②女性生殖器およびその関連疾患 (無月経、思春期・更年期障害、外陰・膣・骨盤内感染症、婦人科良性腫瘍、婦人科悪性腫瘍)
